

心肺蘇生法

日本蘇生協議会
ガイドライン 2010



詳しく心肺蘇生法を学びたい方は、東山梨消防本部のホームページ内に心肺蘇生法の動画が掲載されていますので、参考にしてください。
また、普通救命講習も受付していますので、お気軽に最寄りの消防署までお問い合わせください。

塩山消防署 救急係 32-5024
山梨消防署 救急係 22-0119

倒れている人を見つけたら

★反応の確認



- ・周囲の安全を確認する。
- ・肩をたたきながら2～3回呼びかける。

★反応がなければ119番とAEDの手配



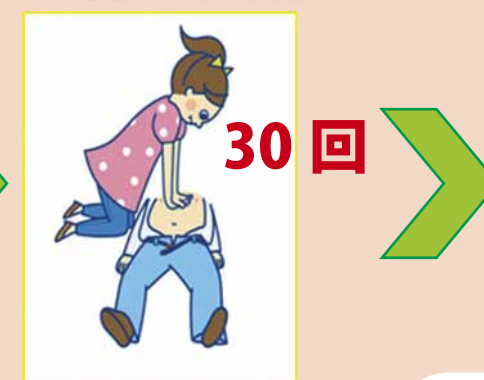
- ・反応がなければ大声で助けを呼び119番通報とAEDの手配をする。
- ・反応があれば、119番通報をして安全な場所で救急隊の到着を待つ。

★呼吸の確認



- ・普段どおりに呼吸しているか、胸とお腹の動きを確認する。
- ※呼吸があるか迷ったときは、心停止と考える。

★胸骨圧迫



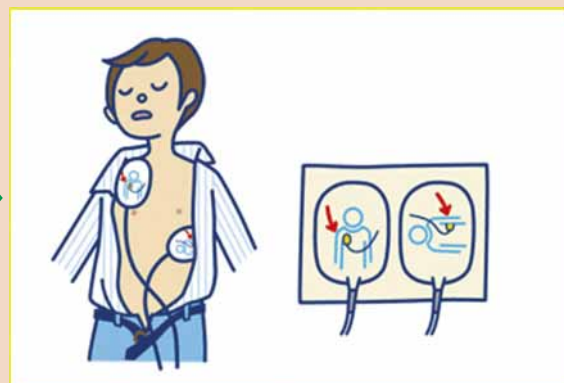
- ・呼吸がなかったら胸の真ん中を30回押す。

★人工呼吸



- ・あごの先端を持ち上げて気道確保をし、人工呼吸を2回行う。
- ※人工呼吸用保護具等により感染防止ができない、また人工呼吸を行なうことがためられる場合は、人工呼吸を省略する。

★AED使用準備



- ・AEDの電源を入れ、電極パッドをパッドに書いてある絵のとおり貼る。
- ・AEDが心臓の動きを解析しますので、解析中は傷病者に触れないようにする。
- ※解析とは、AEDが電気ショックが必要か判断しています。

★電気ショック



- ・AEDが解析した心臓の動きが電気ショックの適応だった場合、充電後ショックボタンを押す。
- ・解析結果が電気ショックの適用でなかった場合は、AEDのガイダンスどおり、胸骨圧迫と人工呼吸を継続して行う。
- ・その後、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回、または胸骨圧迫のみを救急隊が到着して引き継ぐまで続ける。

- ☆胸骨圧迫のポイント☆
- ・強く（少なくとも5cm胸が沈むまで）
 - ・速く（少なくとも1分間に100回のリズムで）
 - ・絶え間なく（中断時間は10秒以内を目標に）胸の真ん中を圧迫する

塩山消防署の救急車を更新しました！



この車両は、救急救命士による救命処置が行えるよう最新の医療機器を搭載しています。

今回の心肺蘇生法特集は、64号広報のアンケートにありました『どのような記事を掲載してもらいたいのか』のなかの意見を参考に作成させていただきました。消防署のことについて記事にしてほしいことがありましたら、広報8ページの行政・消防クイズ（アンケートを含む）に是非参加してみてください。

